

## 機械・電気設備請負工事必携

### 2 機械・電気設備工事施工管理基準

#### 新旧対比表

(令和7年4月)

頁	改訂前				改訂後																																										
	検査対象		規格値	摘要	検査対象		規格値	摘要																																							
工種	項目	工種			項目																																										
5-3	2. 高圧閉鎖配電盤	1) 外観構造検査	承諾図書と相違ないこと。	JEM 1425-2011	2. 高圧閉鎖配電盤	1) 外観構造検査	承諾図書と相違ないこと。	JIS C 62271-200																																							
		・寸法検査		JEM 1459-2020		・寸法検査		JEM 1459-2020																																							
		盤寸法の許容差 単位:mm		盤寸法の許容差 単位:mm																																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">盤寸法</th> <th colspan="2">許容差</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120 を超え 400 以下</td> <td>± 2</td> <td>± 3</td> </tr> <tr> <td>400 を超え 1000 以下</td> <td>± 2</td> <td>± 4</td> </tr> <tr> <td>1000 を超え 2000 以下</td> <td>± 3</td> <td>± 6</td> </tr> <tr> <td>2000 を超え 4000 以下</td> <td>± 4</td> <td>± 8</td> </tr> <tr> <td>4000 を超え 8000 以下</td> <td>—</td> <td>± 10</td> </tr> </tbody> </table>	盤寸法	許容差		A	B	120 を超え 400 以下	± 2	± 3	400 を超え 1000 以下	± 2	± 4	1000 を超え 2000 以下	± 3	± 6	2000 を超え 4000 以下	± 4	± 8	4000 を超え 8000 以下	—	± 10			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">盤寸法</th> <th colspan="2">許容差</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120 を超え 400 以下</td> <td>± 2</td> <td>± 3</td> </tr> <tr> <td>400 を超え 1000 以下</td> <td>± 2</td> <td>± 4</td> </tr> <tr> <td>1000 を超え 2000 以下</td> <td>± 3</td> <td>± 6</td> </tr> <tr> <td>2000 を超え 4000 以下</td> <td>± 4</td> <td>± 8</td> </tr> <tr> <td>4000 を超え 8000 以下</td> <td>—</td> <td>± 10</td> </tr> </tbody> </table>	盤寸法	許容差		A	B	120 を超え 400 以下	± 2	± 3	400 を超え 1000 以下	± 2	± 4	1000 を超え 2000 以下	± 3	± 6	2000 を超え 4000 以下	± 4	± 8	4000 を超え 8000 以下	—	± 10	
盤寸法	許容差																																														
	A	B																																													
120 を超え 400 以下	± 2	± 3																																													
400 を超え 1000 以下	± 2	± 4																																													
1000 を超え 2000 以下	± 3	± 6																																													
2000 を超え 4000 以下	± 4	± 8																																													
4000 を超え 8000 以下	—	± 10																																													
盤寸法	許容差																																														
	A	B																																													
120 を超え 400 以下	± 2	± 3																																													
400 を超え 1000 以下	± 2	± 4																																													
1000 を超え 2000 以下	± 3	± 6																																													
2000 を超え 4000 以下	± 4	± 8																																													
4000 を超え 8000 以下	—	± 10																																													
	・板厚検査	承諾図書と相違ないこと。			・板厚検査	承諾図書と相違ないこと。																																									
	・塗装、膜厚検査	膜厚は測定値の全数が承諾図書で規定する値以上であること。			・塗装、膜厚検査	膜厚は測定値の全数が承諾図書で規定する値以上であること。																																									
	2) 機構動作試験	開閉機器、引出し機器及びインターロック等が正常に動作すること。 動作確認は無負荷の状態で行う。 開閉機器の操作 5回 移動機器の挿入 5回 移動機器の引出 5回	JEM 1425-2011		2) 機構動作試験	開閉機器、引出し機器及びインターロック等が正常に動作すること。 動作確認は無負荷の状態で行う。 開閉機器の操作 5回 移動機器の挿入 5回 移動機器の引出 5回	JIS C 62271-200																																								
	3) 絶縁抵抗試験	主回路一括大地間及び制御回路一括大地間にて測定する。 主回路 5MΩ以上 制御回路 5MΩ以上	JEM 1021-1996		3) 絶縁抵抗試験	主回路一括大地間及び制御回路一括大地間にて測定する。 主回路 5MΩ以上 制御回路 5MΩ以上	JEM 1021-1996																																								

頁	改訂前				改訂後																																														
	検査対象		規格値	摘要	検査対象		規格値	摘要																																											
	工種	項目			工種	項目																																													
5-4		4) 耐電圧試験	主回路 次表に示す試験電圧を商用周波数で1分間印加する。 単位:kV <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格電圧 (実効値)</th> <th colspan="2">定格耐電圧</th> </tr> <tr> <th>対地及び相間</th> <th>断路部の同相極間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3.6</td> <td>10</td> <td rowspan="2">19</td> </tr> <tr> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7.2</td> <td>16</td> <td rowspan="2">25</td> </tr> <tr> <td>22</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>50</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	定格電圧 (実効値)	定格耐電圧		対地及び相間	断路部の同相極間	3.6	10	19	16	7.2	16	25	22	12	28	32	24	50	60	36	70	80	JEM 1425-2011		4) 耐電圧試験	主回路 次表に示す試験電圧を商用周波数で1分間印加する。 単位:kV <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格電圧 (実効値)</th> <th colspan="2">定格耐電圧</th> </tr> <tr> <th>対地及び相間</th> <th>断路部の同相極間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3.6</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7.2</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>50</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	定格電圧 (実効値)	定格耐電圧		対地及び相間	断路部の同相極間	3.6	10	12	16	23	7.2	20	23	28	32	24	50	60	36	70	80	JIS C 62271-200
	定格電圧 (実効値)	定格耐電圧																																																	
対地及び相間		断路部の同相極間																																																	
3.6	10	19																																																	
	16																																																		
7.2	16	25																																																	
	22																																																		
12	28	32																																																	
24	50	60																																																	
36	70	80																																																	
定格電圧 (実効値)	定格耐電圧																																																		
	対地及び相間	断路部の同相極間																																																	
3.6	10	12																																																	
	16	23																																																	
7.2	20	23																																																	
	28	32																																																	
24	50	60																																																	
36	70	80																																																	
		5) 操作・制御試験 (シーケンス試験・インターロック試験)	承諾図書と相違ないこと。 承諾図書と相違ないこと。 承諾図書と相違ないこと。	JEM 1425-2011	5) 操作・制御試験 (シーケンス試験・インターロック試験)	承諾図書と相違ないこと。 承諾図書と相違ないこと。 承諾図書と相違ないこと。	JIS C 62271-200																																												
		6) 銘板及び表示	承諾図書と相違ないこと。		6) 銘板及び表示	承諾図書と相違ないこと。																																													
		7) 付属品検査	承諾図書と相違ないこと。		7) 付属品検査	承諾図書と相違ないこと。																																													

補助回路 交流 2000V 対地 1分間  
(1秒間に短縮してもよい。)

補助回路 交流 2000V 対地 1分間  
(型式試験と類似の補助回路構成の場合、試験電圧は 1000V で試験時間は 1秒間に短縮してもよい。)

JIS C 62271-200

JIS C 62271-200

頁	改訂前				改訂後																																											
	検査対象		規格値	摘要	検査対象		規格値	摘要																																								
工種	項目	工種			項目																																											
5-5	3. 高圧コンビネーションスタータ	1) 外観構造検査 ・寸法検査	承諾図書と相違ないこと。	JEM 1425-2011 JEM 1459-2020	3. 高圧コンビネーションスタータ	1) 外観構造検査 ・寸法検査	承諾図書と相違ないこと。	JIS C 62271-200 JEM 1459-2020																																								
			盤寸法の許容差 単位:mm				盤寸法の許容差 単位:mm																																									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">盤寸法</th> <th colspan="2">許容差</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120 を超え 400 以下</td> <td>±2</td> <td>±3</td> </tr> <tr> <td>400 を超え 1000 以下</td> <td>±2</td> <td>±4</td> </tr> <tr> <td>1000 を超え 2000 以下</td> <td>±3</td> <td>±6</td> </tr> <tr> <td>2000 を超え 4000 以下</td> <td>±4</td> <td>±8</td> </tr> <tr> <td>4000 を超え 8000 以下</td> <td>—</td> <td>±10</td> </tr> </tbody> </table>	盤寸法	許容差		A	B	120 を超え 400 以下	±2	±3	400 を超え 1000 以下	±2	±4	1000 を超え 2000 以下	±3	±6	2000 を超え 4000 以下	±4	±8	4000 を超え 8000 以下	—	±10				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">盤寸法</th> <th colspan="2">許容差</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120 を超え 400 以下</td> <td>±2</td> <td>±3</td> </tr> <tr> <td>400 を超え 1000 以下</td> <td>±2</td> <td>±4</td> </tr> <tr> <td>1000 を超え 2000 以下</td> <td>±3</td> <td>±6</td> </tr> <tr> <td>2000 を超え 4000 以下</td> <td>±4</td> <td>±8</td> </tr> <tr> <td>4000 を超え 8000 以下</td> <td>—</td> <td>±10</td> </tr> </tbody> </table>	盤寸法	許容差		A	B	120 を超え 400 以下	±2	±3	400 を超え 1000 以下	±2	±4	1000 を超え 2000 以下	±3	±6	2000 を超え 4000 以下	±4	±8	4000 を超え 8000 以下	—	±10	
盤寸法	許容差																																															
	A	B																																														
120 を超え 400 以下	±2	±3																																														
400 を超え 1000 以下	±2	±4																																														
1000 を超え 2000 以下	±3	±6																																														
2000 を超え 4000 以下	±4	±8																																														
4000 を超え 8000 以下	—	±10																																														
盤寸法	許容差																																															
	A	B																																														
120 を超え 400 以下	±2	±3																																														
400 を超え 1000 以下	±2	±4																																														
1000 を超え 2000 以下	±3	±6																																														
2000 を超え 4000 以下	±4	±8																																														
4000 を超え 8000 以下	—	±10																																														
			注) Aは、“枠の寸法許容差”を示す。 Bは、“枠と扉又は各面との組合せ寸法許容差”及び“列盤の盤幅寸法許容差”を示す。				注) Aは、“枠の寸法許容差”を示す。 Bは、“枠と扉又は各面との組合せ寸法許容差”及び“列盤の盤幅寸法許容差”を示す。																																									